

心臓カテーテル検査・治療を受ける患者さんへ（鼠径部から穿刺予定の方）



様は（ 右 ・ 左 ） の （ 鼠径部 ） から穿刺予定です

主治医

担当看護師

経過	入院前～入院日	検査・治療当日(検査・治療前)	検査・治療当日(検査・治療後)	検査・治療翌日(退院予定)
日付	/	/	/	/
患者の 達成目標	- 検査・治療の必要性、内容、合併症を理解できる - 検査の準備を整えることができる	検査・治療に向けて心臓カテーテル室への入室の準備が整う	- 症状が出た場合は報告することができる - 指示に応じた安静を保つことができる - 穿刺部からの出血を予防できる	- 出血や胸部症状がない - 退院が決定する
治療 処置	おへそ～大腿までの毛をカットします	術衣に着替えます(上半身には何も装着しないでください)	- 穿刺部に圧迫止血ベルトを装着します ベルトは、検査・治療後6時間程度で除去する場合、翌朝まで装着する場合、があります - 心電図モニターを装着します	医師の診察後、穿刺部位のテープを剥がします
検査			治療を受けた場合は心電図検査があります	治療を受けた場合は心電図検査、採血があります
薬剤	- 以下の薬は中止します - 再開は、 月 日 からです - 薬剤師が普段飲んでいるお薬の確認をします - 入院日21時頃から点滴を始める場合があります	- 中止薬以外はいつもの時間に飲んでください - 検査・治療前に安定剤を飲みます - 検査・治療の2時間前から点滴があります ※透析の方は、検査・治療直前に点滴をします	点滴は、検査のみだった場合は夕方まで、治療を受けた場合は夜中まで続きます ※医師の指示により翌朝まで続く場合があります ※透析中の方は帰室後に終了します	検査・治療の結果で内服薬が変更になる場合があります
食事	- 治療食が出ます - カフェインを含む飲食物は、夕食後から検査・治療が終了するまで控えてください 	- 午前中に検査・治療を受ける場合は、朝食がありません - 午後に検査・治療を受ける場合は、朝食が1/2量になります	検査・治療終了後気分不良がなければ、飲んだり食べたりできます(検査・治療が9時から始まる場合は軽食があります) 特に水分については、1リットルを目安に積極的に飲むようにしましょう(飲水制限がある場合を除く)	治療食が出ます 
安静活動	病院内であれば制限はありません	病院内であれば制限ありません	ベッド上安静です ※穿刺した側の足は、膝を立てたり力を入れたりしないようにしてください	- 医師の診察後問題がなければ、病院内は制限はありません - 治療を受けた場合は、退院後2週間程度は激しい運動は控えてください
排泄	特に制限はありません	- 検査・治療前にトイレを済ませてください - 医師の指示により尿管を入れる場合があります(尿管なし・尿管・簡易尿器)	ベッド上で排泄します	
清潔	- シャワー浴です(手伝いが必要な場合はお知らせください) - マニキュア、ジェルネイルは除去してください	入浴できません 		
看護	- 入院、検査のオリエンテーションを行います - 手首、足背の動脈にマジックで印をつけます 	ストレッチャーで1階の検査室へ向かいます	頻回に脈や血圧を測ります(帰室時、30分後、1時間後、2時間後、3時間後、6時間後)	
患者 家族 への説明	- 同意書が必要です - 医師が治療について説明します - 検査・治療後に飲むための水分(ペットボトル500ml×2本)を準備ください ※透析の方は不要です - 転倒、転落に注意して下さい(退院まで)	- ご家族は検査・治療予定時刻の30分前にはご来院ください - 当日来院できない場合は事前にお知らせください	- 穿刺部位を動かしたり曲げたりすると出血の原因となります - 穿刺した側の足は伸ばしたままにし、横向きのまま食事してください	- 治療を受けた場合は退院が数日延びることがあります - 必要時、栄養士から栄養指導があります - 医師、看護師、薬剤師が退院後の生活やお薬に関する説明をします

※ この予定表はあくまでもおおよその目安です。個々の身体能力、体調等により手術後の経過は様々です。この表より達成が遅れると治りが悪いということではありません。

※ ご不明な点はお気軽にスタッフにおたずねください。

2025/03 改訂